

コンピュータの相互結合の効率的な利用

どのような研究をしていますか？

コンピュータは単体でも便利な装置ですが、協力させるともっと役に立つものになります。そのためには、他の装置の様子をうかがうことと個々の仕事に専念することのバランスをうまくとらなければなりません。装置同士のうまい協力関係を作るための約束事や、そのために必要になる補助的な処理を工夫する研究をしています。

この研究によって、将来どのようなことが期待できますか？

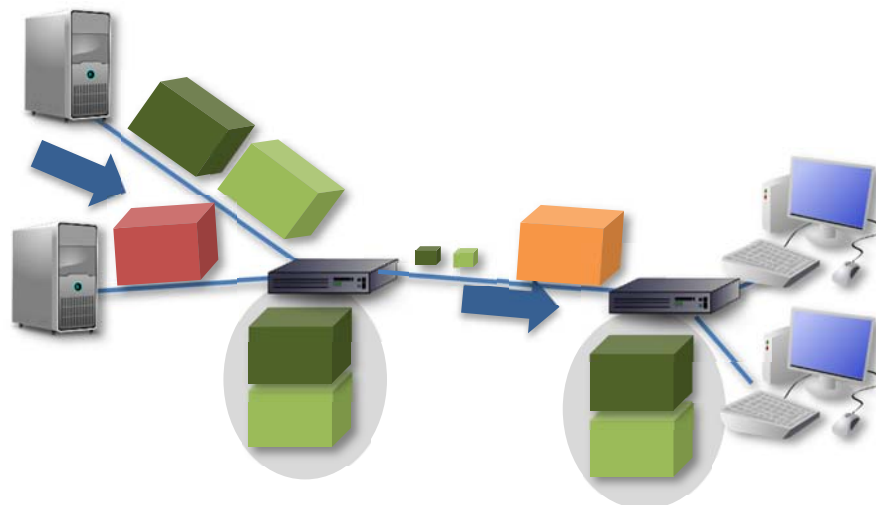
コンピュータネットワークを使ってできることはどんどん増えていますが、実はその便利さの裏側には、たくさんの無駄が隠れています。一方、工夫次第では人間が作り出す無駄な処理をコンピュータでこっそり省くことができます。すると、貴重な資源を効率よく、快適に利用できるようになります。

准教授 成田明子

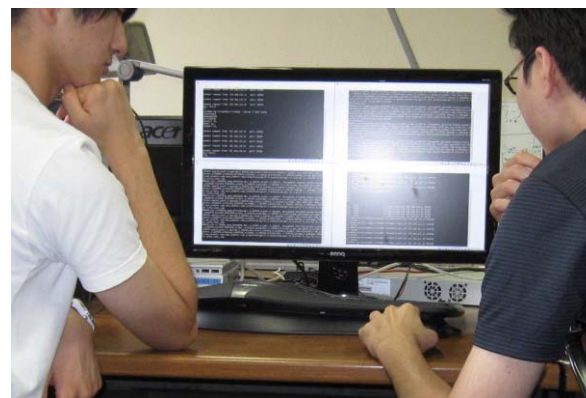
専門分野: コンピュータネットワーク、並列処理

E-mail: narita

(アドレスの後ろに@hirosaki-u.ac.jpを追加してください)



ネットワーク機器が協力して細い経路にデータをうまく通す



ネットワークの状態や機器の処理を監視